インストールガイド

AXIS Q7411 ビデオエンコーダー

日本語

このマニュアルについて

本書は、お使いのネットワークに AXIS Q7411 をインストールする方法について説明しています。ネットワークの構築の経験があると、本製品をインストールする際に役立ちます。

法律上の注意事項

ビデオ、音声監視は法律によって禁止されている場合があり、その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用いただく地域の法律を確認してください。本製品には H.264 デコーダーのライセンスが 1 つと AAC のライセンスが 1 つ含まれています。追加ライセンスの購入については、Axis 製品の販売代理店にお問い合わせください。

電波に関する適合性 (EMC)

本装置は、以下に関する適用規格を満たすように設計、試験されています。

- 指示に従って設置し、想定環境内で使用する場合の無線周波放射
- 指示に従って設置し、想定環境内で使用する場合の電気、電磁現象に対する耐性

米国 - 本装置は、シールドネットワークケーブル (STP) を使用した試験により、FCC 基準パート 15 に基づき、クラス B デジタルデバイスの制限への準拠の審査を受け、認証済みです。この制限は、住居設備における有害な干渉からの適切な保護を目的として規定されています。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、また、放射する可能性があるため、指示にしたがって設置、使用しない場合、無線通信に干渉をおよぼすおそれがあります。ただし、特定の設置で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本装置が原因となってラジオまたはテレビの受信に干渉が発生し、本装置の電源の入 / 切によって本装置が原因であると確認できた場合は、以下の 1 つ以上の方法で干渉を是正してください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変更する。
- 本装置と受信器の距離を離す。
- 本装置を受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに接続する。
- 販売代理店または、経験あるラジオ、テレビ技術者に相談する。

カナダ - 本装置は、カナダの ICES-003 に準拠するクラス B デジタル装置です。

欧州 - CE本デジタル装置は、EN 55022 の制限 B に準拠した放射妨害波の要件、および、EN 55024 住居および商業環境に準拠した耐性の要件を満たしています。

オーストラリア - 本電子装置は無線通信 (電磁環境両立性) 標準 AS/NZS CISPR22 の要件を満たしています。

日本 - この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

韓国 - 이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

安全性

本製品は、EN/IEC/UL 60950-1 情報技術装置の安全性に準拠しています。本製品に使用する電源は、EN/IEC/UL 60950-1 に従って安全特別低電圧 (SELV) および制限電源 (LPS) の要件を満たす必要があります。
本製品は、EN61000-6-1 居住地、商業、軽工業環境に準拠した耐性の要件を満たしています。
本製品は、EN61000-6-2 工業環境に準拠した耐性の要件を満たしています。

製品の改修

本製品は、本書記載の手順に厳密に従ってインストールし、使用する必要があります。本製品には、ユーザーが修理できる部品は含まれていません。本製品を権限なく変更または改修すると、適用されるすべての規制上の認証や認可が無効になります。

法的責任

本書は細心の注意をもって準備されています。誤りや欠落を見つけた場合には、お近くの Axis オフィスまでお知らせください。Axis Communications AB は、いかなる技術上または印刷上の誤りについても一切責任を負わず、本製品および文書に予告なく変更を加える権利を留保します。Axis Communications AB は、市場性および特定目的との適合性に関する黙示的保証を含む (ただし、それらに限定されない)、本書の記載内容に関して、いかなる種類の保証もいたしません。Axis Communications AB は、本書の記載内容にしたがった機器の設置、性能、使用に関する間接的損害または結果的損害に責任も義務も負わないものとします。

RoHS

本製品は欧州 RoHS 指令 2002/95/EC、中国 RoHS 規則 ACPEIP に準拠しています。

WEEE 指令

欧州連合 (EU) は廃電気電子機器指令 (WEEE 指令) 2002/96/EC を制定しました。この指令は EU 加盟国に適用されます。
右に示す本製品の WEEE マークまたは本製品に添付の文書には、本製品を他の家庭廃棄物と一緒に廃棄してはならない旨が記載されています。人の健康や環境に危害を与える可能性を避けるため、本製品は必ず、認可された環境に安全なリサイクル処理に則って廃棄してください。本製品を適切に廃棄する方法の詳細については、製品のサプライヤー、または当該地域の廃棄物担当当局にお問い合わせください。
本製品のユーザーは、本製品の適切な廃棄方法について、サプライヤーにお問い合わせください。本製品を他の商業廃棄物と混在させないでください。

サポート

技術サポートが必要になった場合は、Axis の販売代理店までお問い合わせください。ご質問にすぐにお答えできない場合は、お客様をお待たせしないように、お問い合わせ内容が代理店から適切な窓口に送られます。お客様がインターネットに接続している場合は、以下が可能です。

- ユーザードキュメントとファームウェアのアップデートのダウンロード
- FAQ データベースを使用した、問題の解決方法の検索。製品、カテゴリー、またはフレーズで検索してください。
- お客様専用のサポートページにログインし、Axis サポートに問題を報告。

安全の確保

本製品を設置する前に、本インストールガイドをよくお読みください。インストールガイドは今後参照できるように保管しておいてください。

注：

- 本製品は、乾燥した通気のよい環境に保管してください。
- 本製品に振動、衝撃または強い圧力を加えないでください。本製品を不安定なブラケット、不安定な場所、振動する場所や壁に設置しないでください。製品が損傷するおそれがあります。
- 本製品を取り付ける際には、適切な工具のみを使用してください。不適切な工具を使用すると、製品に過剰な力がかかり、損傷することがあります。
- 化学薬品、腐食剤、噴霧式クリーナーは使用しないでください。クリーニングを行う場合には、湿った布を使用してください。
- 製品の技術仕様に準拠したアクセサリーのみを使用してください。Axis またはサードパーティから入手することができます。
- Axis が提供または推奨する交換部品のみを使用してください。
- 製品を自分で修理しないでください。修理に関しては、Axis または Axis の販売代理店にお問い合わせください。

重要：

- 本製品は、お使いになる国、地域の法律、規制にしたがって使用してください。
- 本製品を屋外で使用する場合は、認定済みの屋外用ハウジングに収容して設置する必要があります。
- 本製品の設置は、訓練を受けた専門技術者が行ってください。設置の際には、国、地域の関係法令を遵守してください。

輸送

注：

- 本製品を運搬する際は、製品が損傷しないよう、元の梱包または同等の梱包を使用してください。

バッテリーの交換

本製品は、内部リアルタイムクロック (RTC) 用電源として 3.0 V BR2032 リチウムバッテリーを使用しています。このバッテリーは、通常条件下で最低 5 年間使用できます。バッテリーが低電力状態になると、RTC の動作に影響し、電源を入れるたびにリセットされます。バッテリーの交換が必要になると、ログメッセージが表示されます。このような必要な場合以外は、バッテリーを交換しないでください！

バッテリーの交換が必要な場合は、www.axis.com/techsup を参照してください。

警告：

- 使用済みのバッテリーはメーカーの指示に従って廃棄してください。

注：

- バッテリーは、正しく交換しないと爆発する危険があります。
- メーカーが推奨する同じバッテリーまたは同等のバッテリーのみと交換してください。

AXIS Q7411 ビデオエンコーダー インストールガイド

このインストールガイドでは、AXIS Q7411 ビデオエンコーダーをお使いのネットワークにインストールする手順について説明しています。製品の使用の詳細については、Axis のホームページ (www.axiscom.co.jp) でユーザーズマニュアルを参照してください。

インストール手順

以下の手順にしたがって、AXIS Q7411 をローカルネットワーク (LAN) にインストールします。

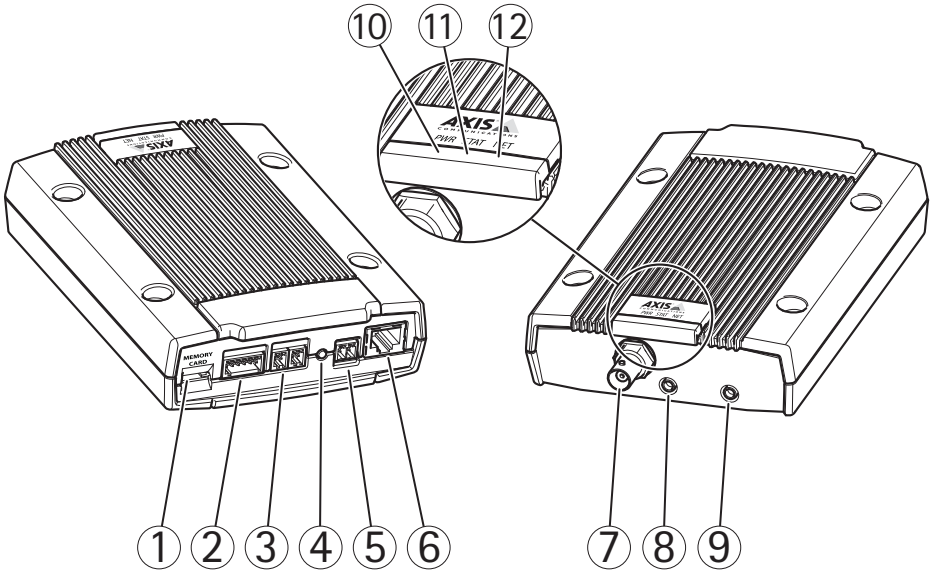
1. 以下のリストを参照して、パッケージの内容を確認します。
2. ハードウェアの概要。6 ページを参照してください。
3. ハードウェアの設置。7 ページを参照してください。
4. ビデオストリームへのアクセス。7 ページを参照してください。
5. ユニットコネクター。8 ページを参照してください。

重要！
本製品はお使いになる国、地域の法律、規制にしたがって使用してください。

1 パッケージの内容

品目	モデル / 型 / 注
Axis ビデオエンコーダー	AXIS Q7411
電源アダプター	PS-K タイプ
取り付けキット	• エンコーダーをコンクリート壁に取り付けるためのネジとプラグ × 4 • 表面保護パッド× 4 • ターミナルブロックコネクター (I/O: 6 ピンコネクター、RS-485/422: 2 ピンコネクター× 2、電源 : 2 ピンコネクター)
CD	インストール・管理ソフトウェア CD (インストールツール、その他のソフトウェア)
印刷物	AXIS Q7411 インストールガイド (本書)

2 ハードウェアの概要



1. メモリーカード
2. I/O コネクター
3. RS485/422 コネクター
4. コントロールボタン
5. 電源コネクター
6. ネットワークコネクター
7. ビデオ入力
8. 音声入力
9. 音声出力
10. 電源 LED
11. スタータス LED
12. ネットワーク LED

寸法

高さ×幅×奥行き : 37 × 109 × 172 mm
重量 : 520 g (電源を含まない)

❸ ハードウェアの設置

重要！ - AXIS Q7411 のケーシングは屋外使用に対応していません。本製品は屋内にのみ設置できます。

ビデオエンコーダーの取り付け

本製品には、ビデオエンコーダーをコンクリート壁に取り付けるためのネジとプラグを含む取り付けキットが同梱されています。

1. ビデオエンコーダーを壁に当て、壁に、4 つの取り付け穴 (6 ページ参照) の位置の印を付けます。
2. 4 つの取り付け穴を開けます。
3. プラグを壁に差し込み、ビデオエンコーダーの位置を合わせ、付属のネジで固定します。

同梱の保護パッドは、ビデオエンコーダーの設置箇所に擦り傷を付けないために使用します。パッドを取り出し、ビデオエンコーダーの底面に当ててください。

ケーブルの接続

1. シールドケーブルを使用して、エンコーダーをネットワークに接続します。PoE を使用する場合は、下記の注を参照してください。
2. 必要に応じて、警報装置などの外部入力 / 出力装置を接続します。ターミナルコネクターピンの詳細については、8 ページを参照してください。
3. 必要に応じて、アクティブスピーカー、外部マイクを接続します。
4. カメラをビデオ入力に接続します。
5. DC 入力を使用して給電する場合は、同梱の屋内用電源アダプターか外部電源を接続します。下記の注を参照してください。
6. LED インジケーターが正しい状態を示すことを確認します。詳細については、11 ページの表を参照してください。

注 :

本製品には、DC 電源入力または PoE (Power over Ethernet) を使用して給電を行うことができます。
DC 電源を使用して給電する場合は、本製品の背面にある電源コネクターに電源を接続します。
PoE を使用する場合は、PoE ネットワークケーブルを接続します。

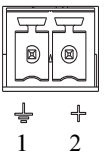
❹ ビデオストリームへのアクセス

インストール・管理ソフトウェア CD に収録されているツールを使用して、IP アドレスの割り当て、パスワードの設定、ビデオストリームへのアクセスを行うことができます。Axis の Web サイトのサポートページ (www.axis.com/techsup) にも情報が掲載されています。

5 ユニットコネクター

ネットワークコネクター - RJ-45 イーサネットコネクター。PoE (Power over Ethernet) Class 2、最大 6.49W をサポートします。シールドケーブルの使用を推奨します。

電源入力コネクター - 同梱の電源アダプターまたは外部電源による電源入力に使用する 2 ピンターミナルブロック。



以下の外部電源を使用することができます。

1. Axis の PS-K
2. 最大出力電流 1A の 8 ～ 28 V DC 制限外部電源

機能	ピン番号	説明
GND	1	グランド
DC 電源	2	電源入力 = 8 ～ 28 V DC 最大 5.3W

microSD メモリーカードスロット - microSD メモリーカードを使用して、ローカルに録画を行うことができます。

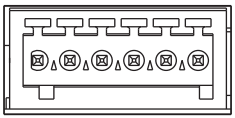
ビデオ入力 - AXIS Q7411 はビデオソースを 1 つサポートします。ビデオ入力は、同軸 /BNC コネクターを使用して終端します。75 Ω 同軸ビデオケーブルを使用します。ケーブル長は 250 m 以下にすることをお勧めします。

> **注 :** ビデオ入力の 75 Ω ビデオ終端は、本製品の Web インターフェースの [Video & Audio] (ビデオと音声) - [Video Input] (ビデオ入力) - [Video termination] (ビデオ終端) で有効 / 無効にすることができます。この終端は、工場出荷時に有効になっています。本製品を別の装置と並列に接続する場合、最適な画質を得るため、ビデオ信号チェーンの最後のデバイスのみ、終端を有効にすることをお勧めします。

音声コネクター - 音声入力用 3.5 mm ジャック × 1、音声出力用 3.5 mm ジャック × 1。ステレオプラグを使用してください。

- 音声入力 : マイクロフォンまたはラインレベル入力 (モノラル)。3.0V バイアス電圧を選択可能。
- 音声出力 : パブリックアドレス (PA) システムまたはアンプ内蔵アクティブスピーカーに接続できるラインレベル音声用出力 (モノラル)。

I/O ターミナルコネクター - 動体検知、イベントトリガー、録画、アラーム通知などのアプリケーションで使用されます。補助電源と GND ピンに加えて、入力または出力として設定できる 4 本のピンがあり、以下のインターフェースを提供します。

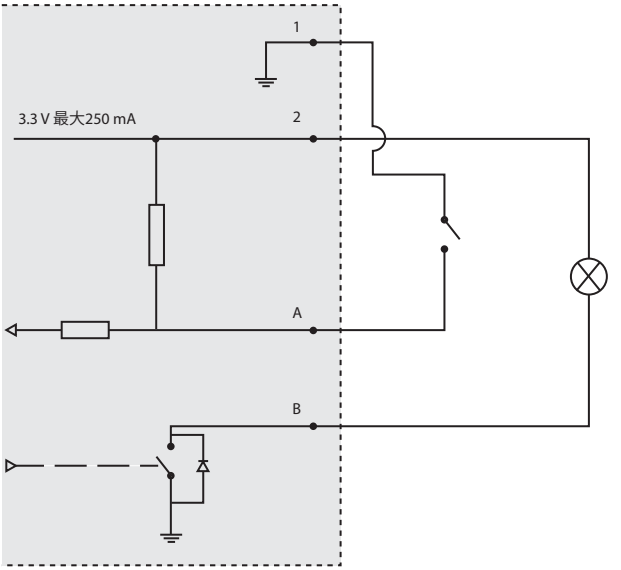


- トランジスター出力 - リレーや LED などの外部デバイスを接続します。接続されたデバイスは、AXIS VAPIX API、**[Live View] (ライブビュー)** ページの出力ボタン、または**イベントタイプ**によってアクティブにすることができます。アラームデバイスがアクティブな場合は、出力が active として表示されます (**[Event Configuration] (イベント設定) - [Port Status] (ポートの状態)** で表示)。
- デジタル入力 - 回路の開閉の切り替えが可能なデバイス (PIR、ドアや窓のコンタクト、ガラス破損検知器など) を接続するためのアラーム入力です。信号を受取ると**状態**が変化し、入力が active になります (**[Events] (イベント) - [Port Status] (ポートの状態)** で表示)。

機能	ピン	備考	仕様
GND	1	グランド	
3.3 VDC 電源出力	2	補助装置の電源供給に使用できます。	最大負荷 = 250mA
設定可能 (入力または出力)	3 - 6	デジタル入力 - 動作させるには GND に接続し、動作させない場合はフロート状態 (未接続) にします。	0 ～ +40V DC
		デジタル出力 - 動作させるにはグランドに内部接続し、動作させない場合はフロート状態 (未接続) にします。外部リレーとともに使用する場合は、過渡電圧から保護するため、ダイオードを負荷と並列に接続する必要があります。	最大負荷 = 100mA 最大電圧 = +40V DC

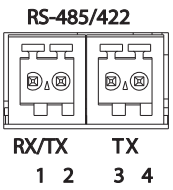
日本語

次の接続図は、補助装置を AXIS Q7411 に接続する方法を示しています。



RS-485/RS-422 コネクター - PTZ 装置など補助装置の制御に使用される RS-485/RS-422 シリアルインターフェース用 2 ピンターミナルブロック × 2。

次のポートモードの RS-485/RS-422 シリアルポートを構成することができます。



- 2 ワイヤー RS-485 半二重
- 4 ワイヤー RS-485 全二重
- 2 ワイヤー RS-422 単方向
- 4 ワイヤー RS-422 全二重ポイントツーポイント通信

機能	ピン	備考
RS-485/RS-422 RX/TX A	1	(RX) 全二重 RS-485/RS-422 用 (RX/TX) 半二重 RS-485 用
RS-485/RS-422 RX/TX B	2	
RS-485/RS-422 TX A	3	(TX) 全二重 RS-485/RS-422 用
RS-485/RS-422 TX B	4	

LED インジケーター

LED	色	表示
ネットワーク	緑	100/1000Mbit/s ネットワークに接続している場合、点灯します。ネットワークパケットを送受信した場合、点滅します。
	黄	10Mbit/s ネットワークに接続している場合、点灯します。ネットワークパケットを送受信した場合、点滅します。
	消灯	ネットワークに接続されていません。
ステータス	緑	通常動作の場合、点灯します。
	黄	起動時、工場出荷時へのリセット時、設定の復元時に点灯します。
	赤	アップグレードに失敗すると、ゆっくりと点滅します。
電源	緑	正常動作
	黄	ファームウェアのアップグレード中、緑 / 黄に交互に点滅します。

工場出荷時の設定にリセットする

IP アドレスを含む全パラメーターを工場出荷時の設定に戻します。

1. AXIS Q7411 の電源を切ります。PoE を使用している場合は、ネットワークケーブルを取り外します。
2. コントロールボタンを押しながら、電源を再投入するか、PoE を使用している場合は、ネットワークケーブルを再度接続します。
3. ステータスインジケーターが黄色に変るまで (最大 15 秒)、コントロールボタンを押し続けます。
4. コントロールボタンを離します。ステータスインジケーターが緑色に変わったら (最大 1 分)、処理は完了し、これでビデオエンコーダーはリセットされました。
5. インストール・管理ソフトウェア CD に収録されているツールを使用して、IP アドレスを再度割り当てます。

Web インターフェースを使用して、パラメーターを工場出荷時の設定に戻すこともできます。詳細については、オンラインヘルプまたはユーザーズマニュアルを参照してください。

関連情報

ユーザーズマニュアルは、Axis のホームページ (www.axiscom.co.jp) でご覧いただけます。

> **ヒント：**
> www.axis.com/techsup にアクセスして、AXIS Q7411 のファームウェアの更新がリリースされていないかどうかを確認してください。現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには、[About] (バージョン情報) を参照してください。

保証

Axis の製品保証と関連情報については、www.axis.com/warranty を参照してください。

インストールガイド Ver.1.1
AXIS Q7411 ビデオエンコーダー 発行 : 2012 年 8 月
© Axis Communications AB 2012
文書番号 : 48765